

みよちゃん

社協だより 93

令和3年11月発行
御代田町社会福祉協議会

ミネバアミツミ株式会社様から
フードドライブ引渡し



『フードドライブ』に参加して

ミネバアユニオン 軽井沢支部
執行委員長 相馬 勲

フードドライブに関しましては組合として連合長野・JAM甲信などで行っており、その趣旨には賛同しておりましたが、フードバンク信州という特定非営利活動法人を介して長野県全体に配られるシステムのため、どのように支援者と受益者が繋がっているのか実感がわきませんでした。

今回御代田町社協様は『町内で生活困窮に課題を持ち、食の支援が必要な方』向けに集めており、御代田町中心の一人親家族への寄付が中心のため、地域貢献に直接つながるかと考え、今回の取り組みに賛同いたしました。

当初は組合内部のみで行おうと考えましたが、当組合はオープンシヨップ制のため、全従業員千三百五十名に対して組合員数二百六十名と二割ぐらいとなっており、集めることができるか不安だとの声もあり、会社との協賛での開催を申し入れ、今回のフードドライブ活動となりました。

御代田町社協様では民間企業でフードドライブへの協賛は当社が初との話を伺い、とても嬉しく感じております。

また式典には御代田町長小園様をはじめ、御代田町社協中山会長に参列いただき、信濃毎日新聞社や西軽井沢ケーブルテレビで報道され、思いの外、盛大に行われました。

今回初めての開催という事もあり、まだ従業員への浸透が十分とはいえなかったため、支援者の人数がさほど多くはありませんでしたが、これを機に今後も継続的に取り組んでいき、裾野を広げていきたいと考えています。

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています

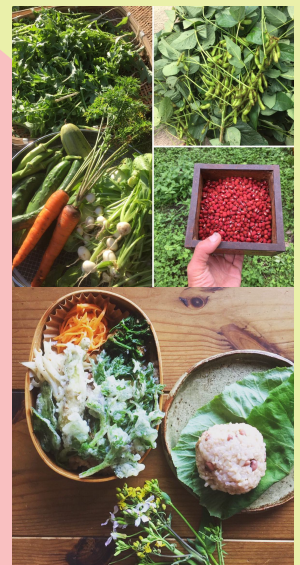
おむすびやおやもぐりん

未来へ繋がる子どもたちが、健やかに生きていけるように
食と土・地球環境を整え、元に戻る暮らしを農と食を通してお伝えしています。
毎月かまどで朝ごはん、お弁当の日、素朴おやつの日など、開いています。
マルシェなどにも出店することもあります。
畑に来てくだされば、収穫して計り売りもしています。

2008年 食育団体もぐりんを設立、みそ作りをたくさんの親子に伝える
2011年より自然農法で畑をはじめ、農を中心とした暮らしに。
2020年長野県農村生活マイスター認定
畑のお野菜を使った「からだもココロも喜ぶお料理」を
楽しみながらお伝えしています。
発酵乳酸飲料の「ミキ」を使った発酵ごはんのレシピを開拓中

長野県農村生活マイスター・日本食育インストラクター
ミキ伝道師・畑の料理教室 もぐキッチン主宰
元保育士・食育インストラクター
おむすびやおやもぐりん代表 酒出 佐登美

連絡先 Mail : mog39@icloud.com



ちょっくら職業体験プロジェクト

「ちょっくら」は、昨年七月より活動しているボランティアの市民団体です。
「ちょっくら」は、職業体験を通して障がいのある子どもたちが地域に馴染みながら地域の人たちとつながり、仕事を受け入れてくれる側も子ども側もお互いあるがままを受け入れ、共に生きていくことのできる共生社会を目指しています。

この活動には、職業体験をしたいと希望する障がいを持つ子どもと、その子どもを支える保護者の協力、お仕事体験を受け入れてくれる企業者さんや行政機関（町立保育園や図書館等）職業体験を支えてくれるサポーターさんの相互関係に基づく活動となっています。

現在、実際に活動している子どもが一人（図書館、ツルヤさん、音楽家、警察署での活動）、これから活動しようとしている子どもが一人います。コロナ禍の現在ではありますが、ちょっとずつ活発的に行っています。皆様のご協力とご理解のほどよろしくお願いします。



御代田町 ボランティア地域活動センター

「ボランティアセンター」とは、専門の知識を持った「ボランティアコーディネーター」が、地域の様々なボランティア活動に関する情報の提供や参加の促進、保険の受付など、さまざまな支援を行うところです。

御代田町では「ハートピアみよた」内に設置され皆様の地域での活動を支援していますが、ここでは現在ボランティアセンターに登録し活発に活動している団体を紹介していきます。登録希望団体は、「ハートピアみよた」まで。

TEL 0267-32-1100 小山岳夫・山田翔太
伊藤智恵子・横谷貴大

御代田ふれあいファーム

「御代田ふれあいファーム」が始まり、今年で2年目になりました。去年よりも畑の面積が大きくなり、ふれあいファームに来る仲間も増えて、賑やかな場所になっています。穴を掘ったり、駆け回っては転んだり、虫を取ったり、花を取ってきて差し出す子供達の瞳は、キラキラ輝いています。そんな子供達を見守る親御さんたちの交流や、ご近所さんと物々交換をしたりと、地域に密着した取り組みになっています。畑と心を耕しながら、これからも笑顔あふれる「御代田ふれあいファーム」を続けていきますので、どうぞ気軽に遊びに来てください。

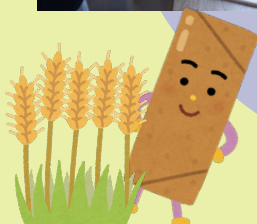
連絡先 Mail : ruralfarm@gmail.com



MIYOTA ライ麦ストロープロジェクト

地域の方々の参加と、ハートピアみよたややまゆり作業所との協働で、御代田町産のライ麦ストローをつくっています。自然を大切にし、環境に優しい持続可能な御代田町への願いを込めて、町内外の多くの方々にライ麦ストローを届けたいと思います。

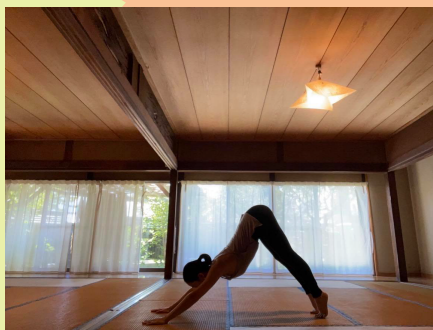
連絡先 Mail : miyota.ryestraw@gmail.com



みよたぐらし

おとなも子どもも学べる、地域をつなぐ場づくりを、御代田町を中心に主催する団体「みよたぐらし」です。守っていききたい暮らしの文化、繋げていきたい生活の知恵、自分自身と対峙して健やかに過ごせる時間を、場づくりを通して作っていきます。

連絡先 Mail : miyotagurashi.contact@gmail.com



買い物代行サービス 始めました！

会員制

買い物ボランティアマッチングサービス

えんじよるの 

「えんじよるの」とは、その日に欲しい物があるのに買い物に行けない時、その日に買い物に行く人が代わりに買って届けてくれる、ネットを使ったシステム。御代田町社協は、このシステムを使って有償の買い物代行サービスを始めました。困ったときはお互い様の精神で、あなたもちょっとやってみませんか？利用者も買い物代行者も登録制ですが、電話とスマホで簡単にできちゃいます！

買い物を代行する人

最初に「えんじよるの」のサイトから、ボランティア登録をしてください。 <https://enjorno.com/>

えんじよるの 検索 

午前中に代行登録者全員に「買い物リクエストメール」が届きます。その日のうちに買い物代行できる場合は、メール下のリンクをクリックします。

2



買い物希望者の連絡先と配達先がメールで届きますので、連絡先に電話をして、希望内容（買い物内容や代金立替えか先払いか等）を聞き取ります。

代金を先払いしてもらう場合は、買い物前に一度買い物希望者宅へ伺います。立替えの場合は、買い物をしてから配達します。



配達が完了したら、最後に終了報告をメールしてください。

詳しく知りたい方は
御代田町社協福祉係
TEL 0267-32-1100 まで
平日 9:00 ~ 17:00

最初に



最初にこちらに電話して利用者登録をしてください。担当者が説明に伺います。御代田町社協福祉係
0267-32-1100
(平日 9:00 ~ 17:00)



会員登録後

1

買い物してもらいたい日の午前中（平日 AM8:00 ~ 12:00 の間）に登録時にお知らせする電話番号（自動応答）に電話をします。買い物代行者は選べません。



3

買い物代行してくださる方から 16:00 までには電話が来ます。注文内容と代金の支払い方法等をお伝えください。店舗は町内のツルヤか西友です。



4

代金と謝礼（一回 ¥500 目安）を先払いか配達時に、買い物代行者へお支払いください。



5

6

あなたの優しい援助を
お待ちしております！



第2回 健幸教室開催のお知らせ

地域の皆さんが、生き生きとした毎日を過ごしていただくために「ハートピアみよた」では「健幸教室」を開催します。

コロナ禍での生活変化の中で、運動を意識的に取り組むことは、体力維持やストレスの解消にも役立つと言われています。

仕事や家事の合い間にできるストレッチもあります。感染予防対策をして、一緒に健康維持に取り組みましょう。

期 間：令和4年1月～令和4年3月
(3か月間)

日 時：毎週(木) 15:00～17:00
初回開催日 1月13日(木)

参加費：10,000円(1教室 1,000円×10回)

場 所：御代田町地域福祉センター
「ハートピアみよた」プレイルーム

対象者：御代田町内在住で概ね60歳以上の方

申込み期間：12/13(月)～12/24(金)
8:30～17:00(土・日・祝日除く)

申込み方法：電話(0267-32-1100)

担 当：福祉係 山田翔太・横谷貴大

※定員に達し次第締め切らせていただきます。
※初回参加者を優先させていただきます。

御代田町地域サポート応援事業の助成 (赤い羽根共同募金事業)

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大防止等の対策により、地域活動等の停滞が要因となって「人と人」との繋がりが薄れ、暮らしの中にさまざまな影響が出ることを恐れています。

こうした状況に影響を受けた方々に対し生きがいの創出や生活支援を行う町内団体等の活動をサポートするために、令和3年度中に行う事業を対象にして、「赤い羽根共同募金」を財源に、助成いたします。

事業の申請相談などの詳細については、御代田町社会福祉協議会(共同募金会御代田町共同募金委員会事務局)まで、ご連絡下さい。

担当：山田翔太(TEL 0267-32-1100)



社協だより みよちゃん

No. 93

発行日

令和3年11月25日

発行者

社会福祉法人
御代田町社会福祉協議会

御代田町御代田 1772 番地 1

TEL: 0267-32-1100

FAX: 0267-32-1111



編集後記
今年も残暑が厳しい時期が過ぎ、すっかりとした秋が来るかと思いきや、寒さが身に染みる季節になってしまいました。私は、昨年四月から御代田町に住んでいます。御代田町の冬の寒さにはまだ慣れていません。これからは、コロナウイルスだけでなくインフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症にも気を配らないといけない季節です。普段皆さんも行っている手洗いうがいがいより一層大切になりますね。
さて、今月号は二、三面に御代田町ボランティアセンターに登録して下さっている活動団体様の紹介をさせていただきました。掲載させていただいている活動は、SDGsの十七の目標に関係する活動もあります。次号からも登録団体についての紹介をしていきたいと思いますので、ご期待ください！そして、今回の紹介した活動に興味関心があったり「ほかにもどんな活動があるか知りたい」という方や、ボランティアを始めてみたいという方は、お気軽に御代田町社協までご相談ください！
福祉係 横谷貴大

ボランティア便り

とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.77



スポーツ大会に参加させて頂いて

神津 浩子

御代田町身体障がい者協会の会員になってから十年以上経ち、毎年お誘いを頂いていましたが、今回初めて参加させて頂きました。当日はB&Gの体育館で、やまゆり作業所の皆さんと総勢六十名ほどの参加の中、ボッチャ・輪投げ・宝釣り等身体にも心にも優しい競技を楽しませて頂きました。私は宝釣りの景品（お菓子、パン等）にクリップを付けるお手伝いをしましたが、数も多くそれらの景品や参加賞等の買物だけでも大変な労力だなあとあらためて感じ、役員の方の大変さを痛感しました。競技は参加賞の軍手を全員はめ、コロナ対策も万全で、私達の笑顔のために隅々まで心をかけて運営されている町、B&G、協会の執行部の皆様に本当に頭が下がりました。ありがとうございました。



訪問【お話し相手】します

傾聴の会 加藤 公文

私もは十一年前から、主に町内の高齢者施設にお伺いして、お話し相手のボランティア活動が続いています。メンバーのほとんどが六〇〜七〇代の女性で、常時十名ほどが活動しています。

一人一時間の傾聴活動を、年間で四百回ほど行ってきましたが、このコロナ禍でほとんど活動できなくなっていました。移動が制限され、話し相手が求められているこの時期に活動できず、大変残念に思っています。

そこで、三密を避けるためにも、施設ではなく個人のお宅に訪問して、お話し相手をする活動に移行していければと考えています。

月に二〜三回、一回当たり一時間、時間を決めて定期的に訪問します。茶菓の接待や交通費は不要です。もちろんお話の内容は口外しませんからご安心ください。

ただお話し相手をするだけのボランティアですが、関心のある方は、町社協のボランティア担当窓口までお問い合わせください。

ボランティアと私

田中由美子

六十歳で仕事を辞めた時、毎日暇で何をしたいのか分からず、せっせと図書館に通っていました。毎日行っているうちに図書館スタッフと仲良くなり「ボランティアやってみませんか？」と声をかけていただいたのが、私とボランティアとの出会いでした。

最初は、図書館での絵本の読み聞かせ。絵本も本も大好きです。右も左もわからないながら色々教えていただき、図書館から、保育園、児童館、小学校などへと読み聞かせの輪が広がっていききました。そのうちに朗読の楽しみも見つけることができ、地域のサロンや図書館などで読ませていただいております。

読み聞かせの中で子供たちとの触れ合いはとても楽しく喜びです。ボランティアって何より自分の為だとしみじみ感じている次第です。

人様の間で読ませていただくことは、それなりに勉強もしますし、緊張もします。腹式呼吸でなければ、長文は読めません。

認知症予防にもなるかなと、コロナ禍で多く規制のある中でも日々楽しく過ごさせていただき感謝です。



門松（かどまつ）は、一年の幸福をもたらしてくれる神様に、家に来てもらうための目印となる正月飾り。ご存知ですか？

門松とは

- ・ お正月にやってくる歳神様が迷わず家に来ていただくための目印となるもの
- ・ 歳神様が降りてこられた後、宿る依り代（よりしろ）になるもの
- ・ 一年の幸せ（昔は五穀豊穡）を願うもの
- ・ 長寿を願うもの

このような意味を持つている正月飾りです。ちなみに門松は松飾り、飾り松、立て松とも呼ばれます。

門松をお正月に飾るようになったのは、平安時代の宮廷儀礼の「小松引き」という行事と考えられています。平安時代には「初子（はつね）」と呼ばれる、一年の最初の「子の日」に野に出て宴をする文化がありました。この日に子供が松を根ごと引っこ抜いて、その松を玄関に飾ったのが門松の由来とされています。起源を見ると、今の門松の主役は竹のように感じますが、実は松が重要な素材であることがわかります。



ちなみに竹が門松に含まれるようになったのは室町時代とされています。

その後江戸時代に入ってから、武家も商家も農家も宮廷行事に倣い家の入り口に門松を飾るようになったそうで、江戸時代にはかなり豪勢な門松も見られます。

門松の基本的な構成は松、竹が基本です。

門松の松

- ◇ 松は古来より神様が宿る木と考えられている
- ◇ 松は生命力が強く千代・千年の齡とされ、長寿の木と考えられている
- ◇ 松は神を祀る（まつる）という言葉につながる
- ◇ 松の葉は上を向き、さらに神様を「待つ」という言葉につながる

門松の竹

- ◇ 竹は万代をふるものとして長寿を願うもの
- ◇ 竹は成長が早く、生命力の象徴、繁栄の象徴とされる

紙の門松について

近年、次代の辺文神様への信仰心が薄らぎ、迎えの時期・方向が簡略化されてきた。さらに、昭和四十年代から、生活改善・山林愛護などにより、ごぼう注連を玄関の左右に、前掛け注連を真ん中に飾る家が多くなってきた。門松を印刷した紙片が配布され、玄関や門柱などに、「紙の門松」を張る家がほとんどになった。

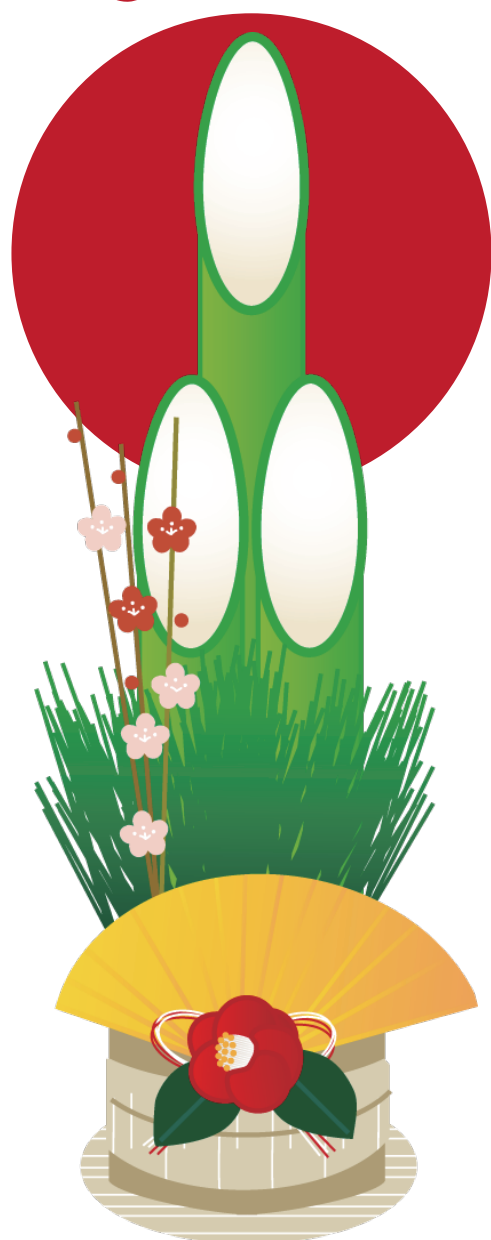


（引用 神仏ネット）

「紙の門松」

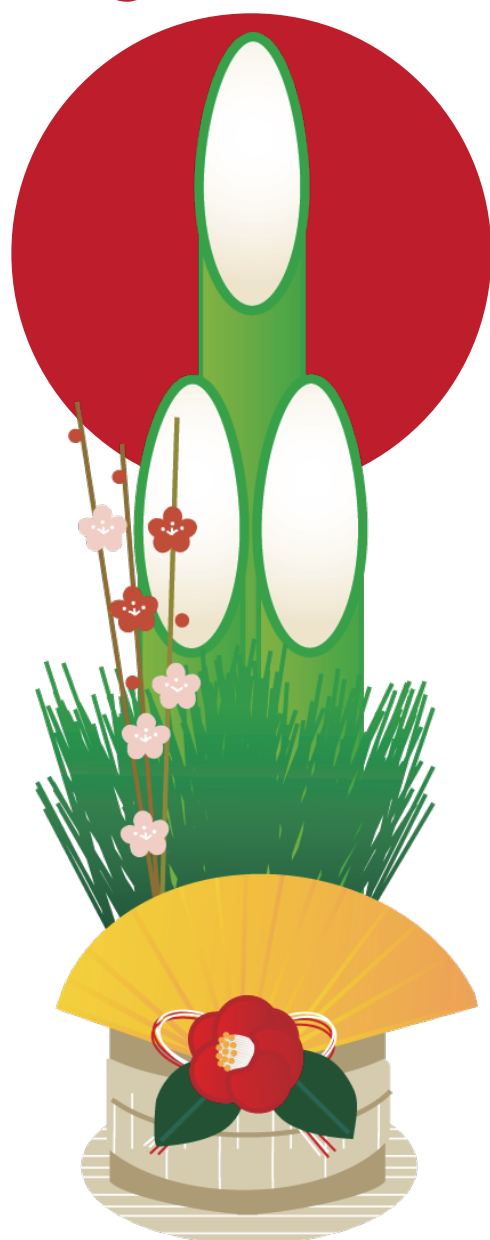
この「紙の門松」は、皆様の共同募金で作成しました。
裏面に点線を引いてあるので、切ってお使いください。

賀 正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

賀 正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会